

平成23年度の取組

佐渡市小学校教育研究会 教務部

1 はじめに

佐渡市小学校教育研究会では、分科会に「教務部会」はあるものの、「教育課程部」がない。そのため、「教務部会」の内容を記載する。

2 実際の活動

(1) ねらい

教務主任の職務の自覚を促し、学校課題等への取組の在り方等を講演をとおして研修し、教務主任としての力量を高める。

(2) 内容

① 情報交換 (60 分間)

学校規模によって、教務主任の業務内容も異なる。そこで、学校規模に応じて3グループを編成し、情報交換を行う。情報交換の大まかな内容は、記録者が全体に発表し、共有を図る。

情報交換の共通の話題として「学力向上推進システム活用事業の取組」を取り上げた。また、グループごとの話題は、下のおりである。情報提供者が提供しやすい話題とした。

ア 専任教務主任グループ <話題 時数確保のための取組>

イ 学級担任兼務教務主任グループ <話題 校務の効率化を目指した取組>

ウ 複式学級担任兼務教務主任グループ <話題 複式学級における時間割作成の工夫>

② 講演 (60 分間)

「学校運営と教務主任の役割」と題し、佐渡市内に勤務される教頭から講話をいただいた。

3 成果

昨年度の反省で、「学校規模によって業務内容も取組内容も異なる。」「情報交換をする時間が多くあるといい。」などが挙げられた。そこで、今年度は、学校規模別グループ編成を行い、情報交換を行った。

研修会後のアンケートには、「同じ悩みや学校課題などを話し合うことが有意義であった。」「もっと時間をとり、情報交換をしたかった。」「校務分掌や組織の位置付けなど異なるが、参考になる意見が多かった」などの記述が見られた。来年度も継続し、情報交換を豊かにできるようにしていきたい。

また、「講話」については、例年好評である。佐渡市内に赴任される前の「教務主任」であったころの経験談・体験談を聞く機会としている。講話を聞きながら、「教務主任」としての業務・職責を見つめ直すきっかけとなった。

4 課題

各校によって、校務分掌・組織等は異なるものである。また、各学校の教育課程については地域の特色に応じて「自校化」されており、全体で協議したり学び合ったりする場がないのも事実である。これまでは、「年1回の研修」ではあったが、研修回数を重ねていくことや研修の質を高めていくことで、教育課程について研修を深めることにつながっていくかどうか検討していきたい。